第8節 スポーツ課

[総括概要]

スポーツ基本法の前文は「スポーツは、世界共通の人類の文化である。」から始まり、「すべての国民が日常的にスポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、またはスポーツを支える活動に参画することのできる機会が確保されなければならない。」と記されている。

スポーツ基本法に基づき、本市では、社会情勢の変化、市民のスポーツ活動状況等を考慮し、令和5年3月に第2期栃木市スポーツマスタープランを策定し、「スポーツを通じて市民だれもがいきいきと元気になる栃木市の実現」を基本理念として、生涯スポーツの推進及びスポーツ環境の充実を図っている。

スポーツ課の主な分掌事務は、生涯スポーツの普及振興、生涯スポーツ関係団体の育成及び支援、スポーツ推進審議会、スポーツ推進委員による生涯スポーツ推進事業、プロスポーツ連携事業、栃木地域の社会体育施設(運動公園施設を除く)の整備及び管理運営、学校体育施設の開放、スポーツ振興基金の管理などのスポーツ環境充実事業である。

生涯スポーツの推進については、スポーツの普及振興のため、市内で活動するスポーツ団体やプロスポーツチームを活用した自由参加型のスポーツ体験イベント「栃木市民スポーツフェスティバル」や、初心者の小学生を対象とした各種スポーツ教室、地域巡回型のニュースポーツの体験会等を開催し、スポーツ人口の拡大に努めるとともに、スポーツ団体や近隣市町との連携による各種スポーツ大会・教室を開催し、競技力の向上や振興を図った。

プロスポーツ連携事業については、市内で活動を行う各プロスポーツ団体と連携し、スポーツを通じた地域の活性化・健康づくりの推進を図るために締結した連携協定の実践のほか、各スポーツ団体の市内活動拠点整備に向けて、関係機関や地元等の調整に努めた。

また、プロスポーツチームの試合や練習等を見たり、選手等と触れ合ったりすることで、市民がスポーツの楽しさを知り、スポーツを行う動機づけとなることを目指して設立された栃木市民スポーツ応援団 "Strawberry Hearts"を運営し、市内で活動する栃木シティフットボールクラブや栃木ゴールデンブレーブス、宇都宮ブリッツェン、宇都宮ブレックスと市民との架け橋となるべく努めた。

令和6年8月24日には、女子野球の普及振興、地域活性化を図るため、全国で16自治体目、県内で初めて認定された「女子野球タウン」事業の目的である、女子野球を通じた地域の活性化やSDG s に掲げられている「ジェンダー平等」、「住み続けられるまちづくり」を共に連携・協力して推進していくための協定を一般社団法人全日本女子野球連盟と締結した。

スポーツ環境の充実では、社会体育施設の管理運営において、身近にスポーツが楽しめる広場や様々なスポーツイベントが開催できる施設として、利便性の向上や適正管理に努めた。

また、「栃木市スポーツ施設ストック適正化計画」の整備スケジュールに基づき、 対象となるスポーツ施設の維持管理、集約化、廃止について、各施設の所管課と情報を共有しながら計画推進を図った。

社会体育施設は、利用者が安全に利用できるよう、適正な維持管理を行った。 学校体育施設の開放等については、利用日程調整会議を開催し利用者間の調整を 図った。

市民スポーツ係

1 生涯スポーツ推進関係

スポーツの振興については、全地域で連携して進めた。

(1) 栃木市スポーツ推進審議会

学識経験者、スポーツ関係団体や社会体育団体の代表者、公募委員等12人により構成し、栃木市のスポーツ振興について審議するため設置された機関。

令和6年度の栃木市スポーツ推進審議会については、計画の見直しや新たに諮問する議案が無いことから開催しなかった。

(2) 市民スポーツ普及事業

ア 栃木市民スポーツフェスティバル2024

市民が様々なスポーツに触れ合いながら魅力や楽しみを発見することを通じて、 スポーツ人口の底辺拡大等を図ることを目的に、市民の誰もが自由に参加して楽し むことのできるスポーツイベントを開催した。

- 開催日 11月24日 (日)
- ·参加者 5,000人
- •会 場 総合運動公園
- (ア) 主な催し物
 - a 栃木市スポーツ協会競技専門部による競技体験会
 - ・実施種目 12競技(バスケットボール、卓球、フォークダンス、剣道、空手、ターゲット・バードゴルフ、ゲートボール、グラウンド・ゴルフ、フットベースボール、ソフトテニス、テニス、弓道)
 - b 栃木市スポーツ推進委員会によるニュースポーツ体験会
 - ・実施種目 3競技(モルック、バブルサッカー、ボッチャ)
 - c プロスポーツチームとの交流コーナー
 - ・栃木ゴールデンブレーブス (ストラックアウト)
 - ・宇都宮ブリッツェン (ロードバイク体験)
 - ・宇都宮ブレックス (ブース出展)
 - d スタンプラリー

会場内の各コーナーをまわり、スタンプを集めた方に賞品をプレゼント

e ウォークラリー

会場内のウォークコースをまわり、設置された8つの問題を回答した方に賞品をプレゼント

- f 総合型地域スポーツクラブ、スポーツクラブによるクラブの案内及び体験教 室の実施
- g スポーツショップによるスポーツ用品の販売
- h キッチンカーによる飲食物販売
- i 競技団体による競技体験会
 - ・実施種目 1競技(ローイング)
- イ "小学生向け"初心者スポーツ教室

「子どもからの運動習慣の形成によるスポーツ人口の底辺拡大」及び「子どもの体力向上」を図るとともに、本市と連携協定を結ぶプロスポーツチームを指導者として活用し、市民に身近に感じてもらうことで、応援機運の醸成による"みる"スポーツの推進を図ることを目的に、初心者の小学生を対象とした各種スポーツ教室を開催した。

(ア) 第1期

開催日	競技 (協力プロチーム)	参加者(人)	会場
11月3日(日)	バスケットボール (宇都宮ブレックス)	35	関東ホーチキにしかた 体育館(西方総合文化体 育館)
11月10日(日)	野球(栃木ゴールデンブレーブス)※小学1~4年生対象	37	エイジェックスポーツ 科学総合センター
12月8日(日)	サッカー (栃木シティフットボ ールクラブ)	24	CITY FOOTBALL STATION

(イ) 第2期

開催日	競技 (協力プロチーム)	参加者(人)	会 場
2月16日(日)	サッカー (栃木シティフットボ ールクラブ)	27	CITY FOOTBALL STATION
3月2日(日)	野球(栃木ゴールデンブレーブス)※小学5~6年生対象	4	エイジェックスポーツ 科学総合センター
3月9日(日)	バスケットボール (宇都宮ブレックス)	33	関東ホーチキにしかた 体育館(西方総合文化体 育館)

ウ "小学生対象指導者向け"スポーツ指導者講習会

本市における指導者の指導力・技術力向上を図ることで、トップアスリートとして将来活躍できる選手の育成・支援の推進を目的に、市内小学生スポーツチーム指導者を対象とした各種スポーツ指導者講習会を開催した。

開 催 日 競技(協力プロチーム)	参加者(人)	会 場
-------------------	--------	-----

11月3日(日)	バスケットボール (宇都宮ブレックス)	9	関東ホーチキにしかた 体育館(西方総合文化体 育館)
11月10日(日)	野球 (栃木ゴールデンブレーブス)	5	エイジェックスポーツ 科学総合センター
12月8日(日)	サッカー (栃木シティフットボ ールクラブ)	中止	CITY FOOTBALL STATION
12月22日(日)	第1回メディカル・栄養 (エイジ ェックスポーツ科学総合センタ ー)	中止	エイジェックスポーツ 科学総合センター
3月2日(日)	第2回メディカル・栄養 (エイジ ェックスポーツ科学総合センタ ー)	5	エイジェックスポーツ 科学総合センター

エ "小学生向け"初心者ゴルフ教室

「子どもからの運動習慣の形成によるスポーツ人口の底辺拡大」及び「子どもの体力向上」を図るとともに、多くのゴルフ場を有する本市の特性を活かし、ゴルフ競技の活性化に寄与することを目的に、初心者の小学生を対象としたゴルフ教室を開催した。

- 開催日 3月25日(火)
- ・会 場 都賀カンツリー倶楽部
- ·参加者 28人

オ 小中学生スキー初心者教室

小中学生が冬の大自然に触れながらスキーを楽しむことを通じ、スポーツに親しみを持たせることで、「子どもからの運動習慣の形成によるスポーツ人口の底辺拡大」及び「子どもの体力向上」を図ることを目的に開催した。

- 開催日 1月18日(土)
- ・会 場 エーデルワイススキーリゾート
- ·参加者 33人

(3) スポーツ推進委員活動事業

ア Let's ENJOY バブルサッカー

スポーツに親しむきっかけ作り等として、"する""みる"の両面で楽しむことのできる「バブルサッカー」のイベントを実施し、「スポーツ人口の底辺拡大」を図るとともに、性別や年齢に囚われず楽しめる競技の性質を活かし、将来的に本競技を世代間・地域間交流の方法として活用するための普及活動として開催した。

- 開催日 9月8日(日)
- ・会 場 関東ホーチキにしかた体育館(西方総合文化体育館)
- ·参加者 29人

イ ニュースポーツ巡回体験会 (移動ニュースポーツ体験館)

3つのニュースポーツ「バブルサッカー」「モルック」「ボッチャ」を活用した地域巡回による自由参加型の体験会を実施し、「ニュースポーツの普及」を通じて、「スポーツに親しみを持たせることによるスポーツ人口の底辺拡大」及び「地域内交流の振興」を図ることを目的に開催した。

開催日	地域 (会場)	参加者(人)
10月6日(日)	藤岡 (藤岡総合体育館)	34
12月15日(日)	都賀(都賀中学校体育館)	41
1月19日(日)	岩舟(岩舟中学校体育館)	71
2月9日(日)	大平 (大平南中学校体育館)	34
2月20日(日)	西方(関東ホーチキにしかた体育館	1.0
3月30日(日)	(西方総合文化体育館))	12

ウ 令和6年度ふるさと見に(ミニ)ウォーキング

生涯にわたり、活発にスポーツ活動を行い、健康で活力に満ちた豊かな生活が送れる「元気はつらつコミュニティとちぎ」の実現を目指した様々な取り組みの一環として、健康づくりと生きがいづくり、並びに「ふるさとを再発見!」をテーマに開催した。

- 開催日 10月27日(日)
- ・会 場 "小平浪平生誕150年記念"都賀の魅力発見コース
- ·参加者 42人

(4) 近隣市町連携事業

ア サイクルフェスタ~走ってみよう おやま・のぎ・とちぎ~2024

自転車を活用した栃木市・小山市・野木町の連携事業として、3市町の各所を自転車で巡り、自然と景観を体感していただく中で、市町の魅力を発信し、人を呼び込み交流人口の増加を目指すことを目的に開催した。

- · 開催日 11月2日(土)
- ・会 場 小山総合公園→いちごの里→部屋南部桜づつみ公園→野木ホフマン館 →小山市立体育館→小山総合公園
- ・参加者 荒天のため中止

イ 令和6年度みかも山ウォーク

三毳山を活用した栃木市・佐野市の連携事業として、「三毳山の豊かな自然を楽しみながら健康づくり」をキャッチフレーズとした誰もが参加できるウォーキングイベントを実施し、両市の更なる連携強化・スポーツの振興、三毳山の活性化を図ることを目的に開催した。

- 開催日 2月23日(日)
- ・会 場 県営みかも山公園内・周辺
- ・参加者 87人

ウ 第68回東武日光沿線三市親善剣道大会

東武日光沿線三市(栃木市・鹿沼市・日光市)における剣道愛好者の親睦を図り、 剣道の普及・発展に資することを目的に開催した。

- 開催日 12月1日(日)
- ・会 場 サンコー体育館(日光市大沢体育館)
- ·参加者 24人

(5) 近隣市町連携事業 (栃木市スポーツ協会共催)

開催日	事 業 名	参加者(人)	会場	
6月30日(日)	第78回県南五市対抗親善総合競技大会	258	栃木市・足利市	
7月 7日(日)	另10回原用五川对机机普福石规投入云	200	柳木川・足利川	
10月13日(日)				
20日(日)	令和6年度栃木県民スポーツ大会	196	県総合運動公園他	
27日(日)				
1月26日(日)	第66回栃木県郡市町対抗駅伝競走大会	31	宇都宮市⇔栃木市	
2月16日(日)	第72回県南四市対抗親善スキー大会	20	会津高原だいくらスキー場	

(6) 各種スポーツ大会開催事業

開催日	事 業 名	参加者(人)	会場
5月27日(月)	第45回栃木市ゲートボール大会	42	屋内運動場
6月15日(土)	第14回栃木市夏季学童軟式野球大会	320	
~30日(日)	另14回伽不川夏学子里駅八野球八云	320	
6月30日(日)	第12回栃木市民陸上大会	125	
7月14日(日)	栃木市長杯第69回栃木市学童フットベース	86	総合運動公園
21日(日)	ボール大会	80	
9月 1日(日)	第42回栃木市民水泳大会	中止	
2月11日(火)	第69回とちぎ駅伝競走大会	433	
2月15日(土) 第46回栃木市小・中学校ハンドボール大会	第46回転大夫ホーロ学校とといず、ルナム	62	マルワ・アリーナとちぎ
	02	(総合運動公園総合体育館)	

(7) 栃木市スポーツ協会事業

開催日	行 事 名	参加者(人)	会 場	
9月22日(日)	第6回第1支部運動会	150	栃木中央小	
9月22日(日)	大宮地区体育祭	200	大宮運動広場	
	国府地区民スポーツフェスティバル	300	大塚運動広場	
10月 6日(日)	2024年度都賀スポーツ・レクリエーショ	229	へがっ ぜ、 ツム国	
10月 6日(日)	ンフェスティバル	229	つがスポーツ公園	
	第66回吹上地区体育祭	中止	吹上中	
10月12日(土)	ふる里大平スポーツフェスタ2024	2,000	大平運動公園	
10 8 10 8 (8)	第20回出市地区及本教	000	CITY FOOTBALL STATION	
10月13日(日)	第32回岩舟地区体育祭	800	サブグラウンド	
10月20日(日)		050	関東ホーチキにしかた体育館	
10月20日(日)	にしかたニュースポーツフェス!	250	(西方総合文化体育館)	
10月27日(日)	第75回寺尾地区体育祭	400	寺尾中	

11月10日(日)	第2支部体育大会	80	栃木中央小
12月14日(土)	ミニスポーツフェスティバル(第3支部)	290	南小

(8) 栃木市スポーツ少年団関係

ア 事業報告

開催日	事 業 名	参加団数	場所
4月14日(日)	第10回栃木市スポーツ少年団軟式野球交流大会	7	総合運動公園
5月12日(日)	第13回栃木市スポーツ少年団ミニバスケットボール大会	4	マルワ・アリーナとちぎ (総合運動公園総合体育館)
7月18日(木)	栃木市スポーツ少年団総会	-	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館 (市民交流センター)

イ 登録人数表

種	目	団数	指導者数 (人)	スタッフ数 (人)	団員数 (人)
剣道		1	2	2	55
空手道		1	4	_	8
柔道		1	2	2	8
野球		7	20	10	121
ミニバスケットボー	ル	4	13	3	63
陸上		1	2	_	10
少林寺拳法		1	2	1	7
合	計	16	45	18	272

(9) スポーツ大会出場者激励金等給付事業費

本市のスポーツの競技力・指導力の向上を図るため、スポーツ大会(全国大会、国際大会等)に出場する市内在住の選手・市内に所在する団体に対し、激励金等を給付し、大会での活躍を支援した。

· 給付実績

		全国大会	47人	470,000円
		(選手1人につき1万円)	41八	
	個人	アジア大会		
		(選手1人につき2万円)		_
		世界大会	12人	360,000円
激励金		(選手1人につき3万円)	12人	
(放加) 並		全国大会	55人	275,000円
		(選手1人につき5千円)	55人	275,000□
	個人(市外団体の	アジア大会	1人	10,000円
	構成員)	(選手1人につき1万円)	17	10,000
		世界大会	_	_
		(選手1人につき2万円)		

_				
		全国大会 (1団体につき上限5万円)	20団	960,000円
	団体	アジア大会 (1団体につき上限10万円)	-	_
		世界大会 (1団体につき上限15万円)	_	-
報奨金 (アジア大会 と世界大会を を伴わなで優勝 ともの)	個人 (選手1人につき	優勝	6人	120,000円
	2万円)	準優勝	1人	20,000円
	個人(市外団体の 構成員)	優勝	I	1
	(選手1人につき 1万円)	準優勝	I	ı
	団体 (1団体につき	優勝	_	-
	上限10万円)	準優勝	_	-

プロスポーツ連携係

1 プロスポーツ連携関係

(1) 各プロ及びプロに準じるスポーツ団体との連携

市内で活動を行う栃木シティフットボールクラブ、栃木ゴールデンブレーブス(エイジェック硬式野球部、エイジェック硬式女子野球部を含む)、宇都宮ブリッツェン、宇都宮ブレックスと連携協定に定めた事項の推進、連携事業の構築を行った。

ア 4団体共通

試合情報や結果について、栃木市民スポーツ応援団 "Strawberry Hearts" アカウントによるSNS上での情報発信や、市広報紙へのチーム紹介記事の掲載を行った。

イ 栃木シティフットボールクラブ関係

- ・栃木市で開催されたホームゲームについて、栃木市民デーを設定し市民の無料 入場を実施することで、市民への「みるスポーツ」の推進を図った。
- ・市内小学校3校において学校訪問事業を実施し、栃木シティフットボールクラ ブによるサッカー教室や講話などを交えて、スポーツの振興を図った。
- ・JFLで優勝し、Jリーグ昇格が決まった際には、優勝と昇格を祝うため、栃木駅 の改札に横断幕を設置し、また市内公共施設50か所にのぼり旗を掲出し、広く 市民に周知を図った。

ウ 栃木ゴールデンブレーブス関係

市民への「みるスポーツ」の推進を図るため、「栃木市民デー」として市民の無料招待行う予定であったが、台風の影響により試合が中止となった。

エ 宇都宮ブリッツェン関係

藤岡渡良瀬運動公園で整備を行った渡良瀬サイクルパークを活用したイベント等の開催業務を委託し、各種自転車イベント・講座の開催を行うことで、広くサイクルスポーツの振興に努めた。

(2) 栃木市民スポーツ応援団 "Strawberry Hearts" 関係

プロスポーツチームのスポンサーやファンクラブ等の既存の応援形態とは別に、市民が気軽に負担なくチームの応援の一歩を踏み出すための受け皿として栃木市民スポーツ応援団 "Strawberry Hearts" を運営した。

ア Strawberry Hearts 会員

市が連携協定を締結している栃木シティFC、栃木ゴールデンブレーブス、宇都宮ブリッツェン、宇都宮ブレックスの4チームを応援する。

- 年 会 費 無料
- ・特 典 各チームに関するイベント案内やグッズが当たる抽選会への参加
- · 会 員 数 2,172名

イ 作成物

4チームを広く紹介するためのリーフレットを作成し、試合やイベントにおいて 来場者に配布する他、市内転入者向けに渡す書類に本リーフレット追加し、広く周 知に努めた。

(3) 栃木市杯とちぎさくらカップ (女子野球大会) 関係

女子野球の普及と大会開催による地域活性化を目指し、栃木市と株式会社エイジェックスポーツマネージメントにより組織した実行委員会主催による女子野球大会を開催した。

部門	開催日	参加人数・チーム
小学の部	10月26日(土)から10月27日(日)	36名
中学の部	9月14日(土)から 9月15日(日)	15チーム
高校の部	11月 2日(土)から11月 3日(日)	16チーム
フリーの部	3月22日(土)から 3月23日(日)	15チーム

(4) 女子野球タウン関係

令和2年から実施してきたとちぎさくらカップの実績や今後の女子野球を生かした 市の事業内容が一般社団法人全日本女子野球連盟に認められ、本市が全国で16番目の 「女子野球タウン」として認定されたことを記念し、下記事業を実施した。

ア ヴィーナスリーグ公式戦誘致事業 (エイジェックさくら球場 (大平運動公園野球場))

部門	開催日	試合数
リポビタン杯争奪プレミア	9月21日(土)から23日(月)	6試合
報知新聞社杯争奪	9月22日(日)	2試合
埼玉西武ライオンズ杯争奪U-15	9月23日(月)	3試合

イ 高校選抜チーム試合直前合宿地誘致事業

9月23日に東京ドームで開催された「高校野球女子選抜」と「イチロー選抜 KOBE CHIBEN」との試合における高校野球女子選抜チーム直前合宿を國學院栃木高校野球

及びエイジェックスポーツ科学総合センターで実施した。

(5) 都市対抗野球

連携協定を締結しているエイジェックグループに属する社会人野球チーム「エイジェック硬式野球部」が「小山市・栃木市」のチームとして都市対抗野球大会に出場が決まった際には、栃木駅ロータリー他2か所に横断幕を掲出し、広く市民に周知を図った。

(6) エイジェックスポーツ科学総合センターを活用したセミナー等実施事業

エイジェックグループとの連携協定における施設の相互利用、及び市民の健康増進に関する事項に基づき、市民に対する「運動と健康・栄養」の意識啓発や、令和6年7月にオープンした民間施設では国内最大級の「エイジェックスポーツ科学総合センター」の施設を知ってもらうことを目的として、スポーツ科学と健康・栄養セミナーの開催と、最先端の設備を有する施設の見学会を2月1日、9日の2日間、午前の部、午後の部計4回実施し、200名の市民が参加した。

(7) プロスポーツチーム等による地域貢献事業

ア キャリア教育支援事業(対象:市内中学校)

プロスポーツ、社会人スポーツを通して、選手やスタッフの「働く喜びや苦労」などの話から、スポーツを取り巻く環境などを知ることで、「夢の見つけ方」や「生きる力」を身に着け、中学生がスポーツを通じてキャリア意識を高めていくこと、また、スポーツにかかわる仕事への理解を深め、身近にスポーツチームがあることでシビックプライドの醸成を図ることを目的に実施した。

・申込校数:1校(藤岡中学校)

イ サッカースタジアム開放事業 (対象:市内幼稚園・保育園)

栃木シティフットボールクラブの協力のもと、広い芝生の中で思いっきり遊ぶことができると同時に、本格的スタジアムやプロ選手を幼少期から身近に感じてもらうことで、子供たちの健やかな成長とチームを応援する体制に繋げることを目的に実施した。

- ・申込園数:1園(大平西保育園)
- ウ エイジェック女子硬式野球部による園訪問事業 (対象:市内幼稚園・保育園) 女子野球タウンとしての事業の一環として、エイジェック女子硬式野球部の協力 のもと、申込のあった園を訪問し、園児と女子野球選手が交流しながら、やわらか いボールを使用したボール投げやボール遊びを通し、子供たちの健やかな成長とチ ームを応援する体制に繋げることを目的に実施した。
 - ・申込園数:2園(けやき保育園、いまいずみ保育園)
- (8) Jリーグ関係自治体等連絡協議会への入会

当協議会は、ホームタウン及びホームスタジアムを所管する自治体等の相互の連絡 調整を密にして、ホームスタジアムの適切かつ効果的な管理と運営の円滑化並びにホ ームタウンの振興を図ることを目的としている。

栃木シティフットボールクラブがJリーグ参入したことに伴い、令和6年度に入会した。

2 サイクルスポーツ関係

(1) サイクルパークを活用したイベント等

サイクルパークを活用したイベント等業務をサイクルスポーツマネージメント株式 会社に委託し、渡良瀬遊水地ライドや、太平山ヒルクライムライドの他、プロチーム との合同イベントなどを開催した。

- ・イベント等開催数 7回
- (2) 県南サイクルモデルルート整備

県が中心となり作成した県南地域のサイクルルート (わたらせ8) を案内するため に路面に矢羽根や誘導案内の表示 (市道、林道部) を整備した。

- ・栃木市整備延長:約15.5km (全延長:約188km)
- (3) 自転車の駅

ロードバイクやその他自転車で栃木市を訪れる方が、市内を快適に走行でき、また、市の物産・特産、グルメやアクティビティのPRにつなげることを目的に、サイクルスポット「自転車の駅」として協力いただける店舗や施設の募集を令和7年3月より開始した。

スポーツ施設係

1 社会体育施設

(1) 施設の種類

施設名	建設年	面積	(m²)	備考
施設名	建	敷 地	建物	備考
剣道場	明治44年	437. 25	163.70	木造瓦葺平屋
弓道場	昭和28年	102.47	76.00	木造亜鉛葺平屋
皆川東宮運動場	昭和46年	14, 889. 23	_	
柳原河川敷運動場	昭和52年	12,608.00	3. 25	簡易水洗式トイレ
尻内河川敷運動場	昭和54年	5, 950. 00	9. 91	木造平屋トイレ
大塚運動広場	平成2年	15, 942. 90	27.30	木造平屋トイレ
大宮運動広場	平成5年	15, 257. 00	21.00	木造平屋トイレ
城内ニュースポーツ広場	平成18年	12,648.00		
アルレクスパークとちぎ (屋内運動場)	平成4年	3, 724. 23	1, 062. 80	鉄骨造鋼板葺平屋

(2) 利用状況

(単位:人)

利用人数施設	合計
剣道場	0
弓道場	0

柳原河川敷運動場	8,524
皆川東宮運動場	3, 200
大塚運動広場	16, 106
大宮運動広場	15, 212
城内ニュースポーツ広場	9,880
アルレクスパークとちぎ (屋内運動場)	9,615
合 計	62, 537

※剣道場及び弓道場は、耐震性の理由により令和5年9月11日(月)から利用休止

2 学校体育施設開放関係

利用状況

(1) 学校体育施設(体育館)

(単位:人)

1) 子饮件月旭故(件月路)	(単位・八)
利用人数	A 71
施設	合計
栃木中央小	17, 911
栃木第三小	9, 683
栃木第四小	18,603
栃木第五小	5, 659
南 小	5, 524
大宮南小	4, 948
大宮北小	7, 296
皆川城東小	6, 418
吹上小	8, 334
千 塚 小	5, 943
寺 尾 小	3, 971
国府南小	4, 121
国府北小	3, 264
栃木東中	4,850
栃木西中	5, 281
栃木南中	3, 454
東陽中	4,530
皆 川 中	8, 353
吹上中	3, 696
寺 尾 中	4, 923
合 計	136, 762

(2) 学校体育施設(運動場)

(単位:人)

利用人数	
施設	合計

栃木中央小	3, 339
栃木第三小	3, 959
栃木第四小	3, 450
栃木第五小	3, 433
南小	9, 116
大宮南小	_
大宮北小	3, 300
皆川城東小	4, 368
吹上小	3, 129
千 塚 小	1,700
寺 尾 小	1, 351
国府南小	460
国府北小	6, 250
合 計	43, 855

(3) 学校体育施設(夜間照明)

(単位:人)

利用人数	合計
施設	
栃木中央小	440
栃木第三小	1,675
栃木第五小	1,433
南 小	10,552
皆川城東小	992
栃木東中	4,664
東陽中	1, 232
吹上中	277
寺 尾 中	204
栃木商業高校	460
栃木高校	1,050
合 計	22, 979